

4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する 42 個の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

(1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q 次に挙げる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位 5 項目は、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること (62.2%)」、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること (61.7%)」、「沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること (52.9%)」、「観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること (51.0%)」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること (49.3%)」であった。
- 前回調査と比べ、「交通事故発生等のトラブル防止対策」「円滑な移動」の上位 2 位は変わらない。特に重要度が高まったのは、「環境と共生した持続可能な観光」「円滑な移動」「沖縄らしい景観形成」「Wi-Fi 環境の整備」「沖縄文化の保全・継承・活用」「地元チームの活用」であった。
- 地域別にみると、いずれの地域も交通や移動に関する項目が上位を占める。各地域の上位 5 項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1 位	・円滑な移動 (2 位)	・交通事故等のトラブル防止対策 (1 位)	・交通事故等のトラブル防止対策 (1 位)	・円滑な移動 (4 位)	・交通事故等のトラブル防止対策 (1 位)	・交通事故等のトラブル防止対策 (1 位)
2 位	・交通事故等のトラブル防止対策 (1 位)	・円滑な移動 (2 位)	・円滑な移動 (3 位)	・交通事故等のトラブル防止対策 (3 位)	・沖縄らしい景観形成 (11 位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備 (6 位)
3 位	・交通利便性の向上 (16 位)	・環境と共生した持続可能な観光 (9 位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備 (2 位)	・環境と共生した持続可能な観光 (5 位)	・沖縄文化の保全・継承・活用 (6 位)	・環境と共生した持続可能な観光 (3 位)
4 位	・環境と共生した持続可能な観光 (4 位)	・交通利便性の向上 (3 位)	・環境と共生した持続可能な観光 (12 位)	・沖縄文化の保全・継承・活用 (8 位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備 (2 位)	・交通利便性の向上 (8 位)
5 位	・沖縄文化の保全・継承・活用 (3 位)	・多言語対応 (4 位)	・風評被害対策 (6 位)	・多言語対応 (1 位)	・環境と共生した持続可能な観光 (5 位)	・沖縄らしい景観形成 (3 位)

※括弧内は前回調査の順位

- 性別にみても、男女間で重要視する項目は大きくは変わらない。
- 年代別にみると、いずれの年代も交通や移動に関する項目が上位を占める。“10代”は「Wi-Fi環境の整備」を最も重視している。各年代の上位3項目は以下の通り。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	・Wi-Fi環境の整備	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動
2位	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・環境と共生した持続可能な観光
3位	・円滑な移動	・多言語対応	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・誰もが快適に過ごせる環境整備

- 観光客との接点別にみても、重視項目の上位は大きくは変わらない。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	(%)							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答		
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.2	27.5	9.0	0.8	0.4	0.1	4.51	
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	61.7	29.4	7.4	1.3	0.2	0.1	4.51	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	52.9	36.0	9.7	1.2	0.2	0.0	4.40	
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.0	35.7	11.5	1.4	0.3	0.1	4.36	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	49.3	39.3	10.6	0.7	0.0	0.1	4.37	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	49.2	38.1	10.5	1.9	0.3	0.0	4.34	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	48.7	34.9	14.4	1.6	0.4	0.0	4.30	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	48.3	37.8	13.2	0.6	0.2	0.0	4.33	
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	45.5	42.0	11.3	1.0	0.1	0.1	4.32	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.2	42.1	11.9	1.5	0.3	0.0	4.28	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	44.0	38.0	15.1	2.4	0.4	0.0	4.23	
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.2	42.5	13.0	1.1	0.1	0.1	4.28	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	39.9	42.2	15.1	2.2	0.6	0.1	4.19	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.4	41.7	16.5	2.0	0.5	0.0	4.17	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	38.4	44.1	15.6	1.7	0.2	0.0	4.19	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	37.2	38.5	21.4	2.2	0.5	0.1	4.10	
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	37.1	45.8	15.1	1.6	0.3	0.0	4.18	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.8	41.6	18.7	2.6	0.4	0.0	4.12	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	36.6	46.0	14.3	2.3	0.5	0.2	4.16	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	35.9	45.6	16.9	1.1	0.3	0.3	4.16	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.8	45.6	16.9	1.4	0.0	0.2	4.16	
19 県内離島への観光が促進されていること	35.7	44.4	18.2	1.1	0.6	0.1	4.14	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	35.3	44.2	19.6	0.7	0.1	0.0	4.14	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.3	44.5	18.3	2.5	0.4	0.0	4.10	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	33.4	40.9	22.4	2.3	0.8	0.1	4.04	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.2	45.3	19.5	1.9	0.2	0.0	4.09	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.6	42.0	20.3	4.1	0.8	0.1	4.02	
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	31.8	43.5	21.8	2.5	0.3	0.2	4.04	
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.7	42.8	22.8	2.3	0.2	0.2	4.04	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	31.1	42.6	22.4	3.4	0.5	0.0	4.00	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	29.9	46.4	20.8	2.5	0.3	0.1	4.03	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.9	45.3	20.7	3.4	0.6	0.1	4.01	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	29.7	47.7	20.7	1.7	0.2	0.0	4.05	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.7	48.3	19.4	1.9	0.6	0.1	4.05	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	29.0	48.0	20.6	1.9	0.4	0.1	4.03	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.0	43.6	24.5	4.9	1.9	0.1	3.85	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	24.5	44.1	27.5	3.2	0.6	0.0	3.89	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	24.1	45.4	27.4	2.3	0.7	0.0	3.90	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.0	44.7	26.5	3.6	1.2	0.1	3.87	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	23.2	47.6	26.6	2.3	0.2	0.1	3.92	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	22.7	45.6	28.9	2.6	0.3	0.0	3.88	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	22.3	45.4	26.7	4.8	0.6	0.1	3.84	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年度別）

	(%)	
	2019年度	2017年度
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.2	60.2
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	61.7	53.8
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	52.9	44.1
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.0	48.7
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	49.3	43.7
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	49.2	49.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	48.7	46.1
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	48.3	47.8
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	45.5	38.7
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.2	44.6
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	44.0	37.2
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.2	44.3
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	39.9	39.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.4	37.9
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	38.4	36.2
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	37.2	33.3
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	37.1	37.0
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.8	31.3
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	36.6	39.5
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	35.9	35.9
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.8	35.6
19 県内離島への観光が促進されていること	35.7	36.6
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	35.3	34.7
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.3	37.4
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	33.4	29.7
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.2	34.8
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.6	33.1
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	31.8	29.8
9 M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.7	29.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	31.1	31.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	29.9	31.9
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.9	28.0
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	29.7	34.2
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.7	30.9
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	29.0	32.9
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.0	31.1
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	24.5	30.7
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	24.1	25.1
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.0	30.5
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	23.2	26.2
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	22.7	26.1
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	22.3	25.9

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2019 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	56.7	64.4	59.2	55.5	63.2	58.6
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.0	63.3	57.7	59.8	51.8	43.4
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	49.2	52.5	53.6	54.7	56.1	48.5
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	38.3	52.1	51.5	48.0	50.0	35.4
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	46.7	49.0	49.4	50.8	58.8	41.4
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	50.0	50.8	45.3	47.2	38.6	47.5
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.3	48.7	52.7	46.5	34.2	40.4
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	36.7	46.8	56.2	45.7	57.9	51.5
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	43.3	45.1	46.2	46.1	59.6	46.5
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	33.3	44.1	48.2	42.9	31.6	35.4
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	33.3	42.4	51.2	44.9	46.5	35.4
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	39.2	44.1	44.7	38.2	40.4	29.3
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	41.7	40.5	40.2	37.4	32.5	28.3
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	24.2	38.9	45.3	38.2	23.7	32.3
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	25.8	39.8	35.2	38.2	40.4	34.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	32.5	36.3	41.4	37.4	36.0	28.3
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	30.0	39.0	34.6	32.7	35.1	25.3
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.2	39.0	37.6	26.8	26.3	14.1
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	27.5	33.7	49.1	37.0	35.1	24.2
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	25.8	35.9	36.1	39.0	32.5	28.3
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.7	35.4	38.2	35.8	42.1	26.3
19 県内離島への観光が促進されていること	22.5	35.7	37.0	37.8	31.6	25.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	28.3	34.0	38.8	40.2	28.1	36.4
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	19.2	33.7	39.6	35.0	22.8	26.3
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	21.7	34.4	32.2	32.7	30.7	22.2
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	25.8	33.7	30.5	36.2	31.6	37.4
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	29.2	34.4	26.9	34.3	22.8	15.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	24.2	34.0	28.1	26.8	31.6	28.3
9 M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	22.5	35.1	27.5	22.4	22.8	23.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	19.2	31.4	33.7	28.7	24.6	25.3
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	24.2	28.3	37.9	29.5	22.8	23.2
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	20.8	27.9	40.2	28.3	22.8	22.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	20.0	27.5	37.9	32.7	22.8	28.3
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	20.8	32.4	22.2	29.1	25.4	18.2
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	19.2	27.5	32.2	35.4	23.7	28.3
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	16.7	26.8	22.5	21.3	21.1	21.2
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	20.0	24.9	26.9	19.7	21.1	25.3
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	12.5	23.5	28.1	25.2	20.2	16.2
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	18.3	24.9	24.0	20.1	24.6	20.2
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	20.8	23.7	20.1	26.0	23.7	24.2
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイトをSNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	20.0	23.3	21.6	21.7	21.1	20.2
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	20.8	23.7	21.6	16.1	26.3	18.2

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2017 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	54.1	63.3	55.2	42.0	67.9	59.3
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	50.8	55.7	51.8	39.9	59.8	45.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	28.7	52.1	44.5	39.4	51.8	41.6
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	44.3	49.9	45.4	46.8	58.9	40.7
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	34.4	48.2	52.7	31.9	66.1	44.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.5	49.0	43.0	24.5	54.5	48.7
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	31.1	46.6	43.0	30.3	56.3	42.5
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	35.2	46.9	39.3	35.1	42.9	30.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	45.1	45.7	38.4	39.4	58.0	46.0
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	45.9	45.2	40.2	34.6	57.1	40.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	29.5	39.7	41.8	34.0	42.0	41.6
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	34.4	41.1	37.2	28.7	32.1	20.4
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	41.0	40.8	31.4	31.4	53.6	46.0
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	27.0	39.6	36.3	25.5	54.5	32.7
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	23.0	38.8	35.4	34.6	45.5	28.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	24.6	37.7	33.8	44.1	54.5	37.2
8 ウェディング、ショッピング、タイピング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	30.3	38.6	34.1	31.9	32.1	31.0
19 県内離島への観光が促進されていること	19.7	37.2	39.0	28.2	45.5	38.9
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	29.5	38.5	30.8	31.9	31.3	23.9
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	16.4	38.6	31.4	26.6	40.2	31.9
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	23.0	36.1	38.1	25.5	48.2	31.0
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	27.0	35.8	34.5	28.7	44.6	22.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	27.0	36.1	33.8	26.6	35.7	23.0
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	19.7	35.8	35.4	20.2	25.0	31.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	23.8	35.3	29.0	28.7	33.0	27.4
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	23.0	35.0	29.3	29.8	38.4	15.0
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	17.2	33.8	37.2	18.6	27.7	31.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	19.7	32.5	36.9	17.0	28.6	22.1
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.5	32.7	28.4	26.1	38.4	23.0
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	22.1	32.8	28.7	25.0	34.8	13.3
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	22.1	32.7	27.1	27.1	29.5	31.9
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	16.4	33.4	27.4	18.6	38.4	23.9
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	17.2	31.9	32.6	19.7	29.5	13.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、オーストラリア等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	14.8	32.7	26.8	26.1	29.5	14.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	20.5	32.0	25.0	21.3	43.8	22.1
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	23.0	31.4	26.8	24.5	26.8	22.1
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	18.9	31.4	25.0	30.9	39.3	14.2
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.3	28.7	29.0	18.1	41.1	26.5
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.6	27.0	28.0	17.6	24.1	20.4
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	15.6	27.6	25.3	19.1	19.6	14.2
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	18.0	27.6	22.6	19.1	32.1	17.7
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	13.9	26.2	25.9	16.5	24.1	13.3

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.5	63.0
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	60.2	58.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	51.3	54.4
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.9	52.3
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	46.3	52.6
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.6	48.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	44.9	49.0
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	45.8	52.2
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	45.4	47.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.4	44.7
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	40.1	47.7
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.0	41.4
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	38.1	39.2
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	35.6	39.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	34.8	39.5
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	37.4	36.1
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	33.4	37.1
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	33.2	33.9
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	35.7	37.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	33.0	36.8
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.2	36.1
19	県内離島への観光が促進されていること	33.5	35.2
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	34.2	36.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	31.0	34.8
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.9	30.3
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.0	34.9
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.5	28.1
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	29.6	31.0
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	27.8	29.8
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	29.7	29.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	30.4	28.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.4	27.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかりやすく発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	28.8	30.7
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.2	25.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	27.4	30.6
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	22.3	24.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	23.3	24.5
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	22.1	24.5
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.6	22.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	22.3	24.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	22.2	22.0
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	22.4	20.8

図表 4-1-6 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	54.1	60.7	64.7	63.5	59.5	61.1	47.2
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	52.3	58.9	63.7	61.2	60.6	56.8	55.6
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	40.5	44.6	58.8	55.6	58.0	50.9	50.0
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	43.2	50.0	48.8	49.0	50.2	50.9	43.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	38.7	44.6	54.3	51.3	54.6	47.4	41.7
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	31.5	47.8	54.7	47.4	47.6	48.8	44.4
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	36.9	45.5	46.0	46.7	48.3	51.2	45.8
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	37.8	45.1	54.0	46.7	50.6	51.9	50.0
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	34.2	46.4	50.2	51.3	49.8	41.8	36.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	32.4	42.4	48.4	42.1	39.4	43.9	41.7
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	55.0	48.7	50.2	43.8	41.3	36.5	26.4
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	38.7	35.3	43.9	46.7	40.5	41.4	40.3
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	27.9	34.4	38.1	42.4	40.5	40.4	40.3
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	32.4	38.4	37.7	35.5	34.9	41.8	41.7
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	34.2	36.2	41.5	33.2	37.9	38.9	33.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	37.8	42.9	44.6	35.9	34.2	30.9	22.2
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	30.6	40.2	40.1	34.2	33.8	31.2	30.6
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.2	32.6	35.6	34.9	32.7	31.9	27.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	33.3	36.6	39.4	36.8	36.8	33.3	40.3
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	30.6	35.3	35.6	36.2	34.9	35.1	30.6
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	30.6	32.6	39.1	36.5	33.1	37.9	36.1
19	県内離島への観光が促進されていること	29.7	33.9	35.3	36.8	31.2	35.8	33.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	30.6	33.9	36.3	32.2	36.4	38.2	38.9
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	27.9	30.8	35.6	31.3	32.0	35.8	31.9
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	25.2	32.1	35.6	30.6	30.5	32.6	27.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	30.6	34.4	36.0	28.9	31.2	35.1	31.9
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	21.6	29.9	34.3	28.3	28.6	33.7	29.2
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	24.3	31.7	32.5	28.9	28.3	32.3	29.2
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	22.5	27.7	30.1	30.9	30.9	25.6	30.6
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	27.9	29.0	36.7	27.0	29.4	26.7	29.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	27.9	29.0	28.7	30.3	30.9	28.8	31.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	24.3	31.3	34.6	26.6	29.7	26.3	31.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	27.0	23.2	33.9	29.9	30.9	30.2	29.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	23.4	28.1	29.1	26.0	27.9	27.7	25.0
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	31.5	26.3	32.2	28.0	26.0	30.5	27.8
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	21.6	20.5	27.7	21.4	21.9	24.9	25.0
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	21.6	23.2	24.2	23.4	23.8	26.3	20.8
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	22.5	19.6	27.3	21.1	22.3	24.6	25.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	18.0	22.3	25.3	21.7	21.9	25.6	23.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	19.8	20.5	28.7	21.4	20.1	24.6	25.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	21.6	22.8	26.6	20.7	19.7	21.4	19.4
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	18.0	22.8	24.2	18.1	22.3	22.1	22.2

図表 4-1-7 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	66.5	68.0	57.1
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	64.9	65.1	57.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.9	58.9	50.2
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	52.8	54.6	46.6
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	52.8	55.4	46.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	51.2	51.4	46.2
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	48.8	48.9	46.0
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	53.2	50.9	47.7
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	50.4	48.9	45.2
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.0	44.9	41.3
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	49.2	50.6	40.4
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	39.5	44.6	41.6
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	39.5	38.0	39.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.7	40.0	36.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	36.3	39.7	36.7
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	41.9	42.0	33.8
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	36.3	37.1	34.7
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.0	38.9	33.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	44.4	42.0	32.8
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	42.3	37.1	32.8
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	40.7	37.7	34.1
19	県内離島への観光が促進されていること	35.9	36.9	33.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	44.0	35.4	33.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	37.9	37.4	30.0
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	35.1	33.4	30.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	37.9	34.0	31.5
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	29.4	29.4	31.1
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.9	32.3	29.5
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.5	29.1	28.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.6	35.1	27.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	37.1	36.0	25.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	35.5	33.4	26.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.7	32.0	28.4
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.4	28.9	26.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	30.6	28.3	28.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	21.4	26.0	23.2
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	25.0	28.9	22.0
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.6	24.3	21.7
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	25.0	24.9	22.4
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	23.8	23.1	23.3
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	22.6	26.3	20.7
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	23.8	23.4	20.8

(2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

Q それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”をあわせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（63.6%）」、「「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること（56.0%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（52.5%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（52.3%）」、「サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること（49.5%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（13.6%）」、「旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと（14.0%）」、「観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること（14.0%）」、「国内外の富裕層の誘客に取り組むこと（14.5%）」、「海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと（14.6%）」であった。
- 前回調査と比べると、「各種キャンプ・大会の開催」「空手の発信・愛好家の訪問」「沖縄文化の保全・継承・活用」「多種多様な目的での訪問」の上位4位は変わらない。達成度が特に高まった項目は、「交通利便性の向上」「クルーズ船寄港地の分散化」「クルーズ船客の増加」であった。逆に、達成度が低下した項目は、「各種キャンプ・大会の開催」「東アジア地域からの誘客」「東南アジア地域からの誘客」などであった。

- 地域別にみると、“宮古”を除き、「各種キャンプ・大会の開催」の達成率が最も高い。各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
上位	1位	・各種キャンプ・大会の開催 (1位)	・各種キャンプ・大会の開催 (1位)	・各種キャンプ・大会の開催 (1位)	・各種キャンプ・大会の開催 (1位)	・教育旅行による訪問 (9位)	・各種キャンプ・大会の開催 (1位)
	2位	・空手の発信・愛好家の訪問 (3位)	・空手の発信・愛好家の訪問 (3位)	・空手の発信・愛好家の訪問 (2位)	・空手の発信・愛好家の訪問 (7位)	・多種多様な目的での訪問 (2位)	・多種多様な目的での訪問 (2位)
	3位	・多種多様な目的での訪問 (4位)	・沖縄文化の保全・継承・活用 (2位)	・多種多様な目的での訪問 (3位)	・沖縄文化の保全・継承・活用 (4位)	・クルーズ船客の増加 (4位)	・交通利便性の向上 (5位)
下位	1位	・欧米等のリゾート需要の取り込み (36位)	・富裕層の誘客 (26位) ・風評被害対策 (40位)	・協働の場づくり (33位)	・海外メディア等と連携した誘客 (32位)	・消費しやすい環境整備 (16位) ・データ収集・分析 (36位) ・交通事故等のトラブル防止対策 (39位) ・富裕層の誘客 (36位) ・協働の場づくり (42位)	・外国人の観光産業への従事 (28位)
	2位	・交通事故等のトラブル防止対策 (29位)		・風評被害対策 (40位)	・欧米等のリゾート需要の取り込み (21位)		・県民のホスピタリティ (24位)
	3位	・沖縄未経験者の誘客 (17位) ・協働の場づくり (38位)	・協働の場づくり (42位)	・沖縄未経験者の誘客 (31位) ・富裕層の誘客 (29位)	・風評被害対策 (42位)		・交通事故等のトラブル防止対策 (31位) ・高度経営人材の育成 (28位)

※括弧内は前回調査の順位

- 性別や年代別にみても、認識している達成率は大きくは変わらない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

								(%)	達成度 得点
	非常に 達成できて いる	ある程度 達成できて いる	どちらとも いえない	あまり 達成できて いない	全く 達成できて いない	無回答	達成率 (非常に+ある程 度)		
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	13.5	50.1	29.8	5.7	0.7	0.3	63.6	3.70
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	8.8	47.2	35.1	6.9	1.8	0.2	56.0	3.54
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	5.5	47.0	35.9	10.0	1.3	0.3	52.5	3.45
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	9.4	42.9	42.0	4.6	0.8	0.3	52.3	3.56
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	9.9	39.5	40.2	8.9	1.3	0.2	49.5	3.48
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	6.2	42.5	40.7	9.0	1.4	0.2	48.7	3.43
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	6.5	41.1	43.8	7.6	0.6	0.3	47.6	3.45
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	5.2	39.4	47.4	6.6	1.3	0.2	44.6	3.41
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	3.1	39.9	39.0	15.0	2.7	0.3	43.0	3.26
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	3.9	36.8	41.0	15.7	2.3	0.3	40.7	3.24
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	2.6	30.6	51.4	13.4	1.7	0.3	33.2	3.19
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	3.9	28.2	54.1	11.9	1.5	0.4	32.1	3.21
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	2.8	28.3	53.5	12.7	2.4	0.3	31.1	3.16
19	県内離島への観光が促進されていること	3.6	27.0	54.9	12.0	2.0	0.4	30.6	3.18
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	2.4	26.3	59.1	9.9	1.9	0.3	28.8	3.18
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	2.7	26.0	50.6	17.3	3.2	0.3	28.7	3.08
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	2.6	25.8	60.8	8.9	1.6	0.2	28.5	3.19
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	1.9	25.8	60.5	10.1	1.3	0.3	27.7	3.17
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	1.6	25.9	58.6	11.7	1.9	0.3	27.5	3.14
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	2.2	23.9	48.4	21.0	4.2	0.4	26.1	2.99
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	2.4	23.1	51.6	18.3	4.3	0.3	25.5	3.01
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	1.0	23.3	37.6	29.5	8.1	0.4	24.3	2.80
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	1.2	22.2	55.2	18.2	2.6	0.5	23.4	3.01
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	0.9	21.1	62.0	14.6	1.1	0.4	22.0	3.06
35	一部直行便が就航した東アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	1.6	18.9	65.4	11.9	1.9	0.2	20.5	3.06
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	0.9	19.2	59.7	17.2	2.8	0.2	20.1	2.98
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	1.7	17.3	57.9	19.9	2.8	0.5	19.0	2.95
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	0.7	18.2	64.3	13.8	2.5	0.4	18.9	3.01
25	高齢であることや障害の有無などにかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	1.1	16.8	50.3	26.0	5.5	0.3	17.9	2.82
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	0.8	16.8	58.3	21.0	2.9	0.2	17.7	2.92
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	0.6	17.0	42.0	29.5	10.5	0.4	17.6	2.68
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	1.2	16.2	61.1	18.0	3.2	0.3	17.4	2.94
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	0.8	16.5	64.9	14.7	2.8	0.3	17.3	2.98
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	0.9	16.4	65.6	13.6	3.2	0.3	17.3	2.98
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	0.9	16.2	67.6	12.0	3.0	0.3	17.2	3.00
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	0.9	15.7	63.9	16.0	3.1	0.4	16.6	2.95
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	1.0	15.5	63.8	14.9	4.6	0.2	16.5	2.93
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	0.9	13.7	68.2	14.4	2.7	0.2	14.6	2.96
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	0.8	13.7	65.0	16.3	3.7	0.5	14.5	2.92
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	0.6	13.4	69.9	13.5	2.1	0.4	14.0	2.97
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	0.7	13.3	64.3	18.2	2.9	0.6	14.0	2.91
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	1.0	12.7	56.9	22.6	6.4	0.4	13.6	2.79

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年度別）

	(%)	
	2019年度	2017年度
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	63.6	72.1
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	56.0	55.7
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	52.5	55.6
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	52.3	53.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	49.5	46.6
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.7	39.3
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	47.6	49.1
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	44.6	36.8
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	43.0	39.8
4 県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	40.7	36.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	33.2	29.0
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	32.1	26.5
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	31.1	23.1
19 県内離島への観光が促進されていること	30.6	33.1
9 M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.8	28.8
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	28.7	28.1
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.5	35.2
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	27.7	29.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	27.5	24.1
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	26.1	24.3
18 観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	25.5	21.9
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	24.3	23.3
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	23.4	18.4
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	22.0	18.6
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	20.5	25.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	20.1	19.4
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	19.0	21.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	18.9	16.5
25 高齢であることや障害の有無などにかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	17.9	17.1
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	17.7	17.5
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	17.6	18.2
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様な・高度化する観光客のニーズに対応できていること	17.4	16.2
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	17.3	19.5
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	17.3	15.5
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	17.2	15.9
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	16.6	15.8
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	16.5	14.0
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.6	15.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	14.5	19.5
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	14.0	13.3
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	14.0	16.9
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	13.6	13.7

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2019年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	71.7	66.0	56.8	60.6	51.8	48.5
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	60.8	58.6	50.6	52.8	27.2	35.4
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	42.5	57.8	36.4	51.6	38.6	40.4
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	60.0	53.8	46.2	51.6	55.3	46.5
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	50.0	55.7	32.5	42.1	38.6	31.3
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	52.5	52.1	38.5	44.5	50.9	42.4
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	52.5	51.0	36.1	45.7	59.6	30.3
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	28.3	47.0	35.5	48.8	53.5	31.3
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	33.3	50.0	24.0	38.2	21.1	24.2
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	35.8	45.7	26.9	38.2	20.2	21.2
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	28.3	34.8	29.3	33.1	28.9	21.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	22.5	35.2	21.6	33.9	22.8	23.2
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	18.3	34.4	19.2	34.6	26.3	19.2
19 県内離島への観光が促進されていること	33.3	32.4	21.0	35.0	28.9	26.3
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.3	30.6	21.0	31.1	19.3	28.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	19.2	30.2	24.9	30.7	7.9	20.2
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	41.7	28.1	25.1	30.7	50.0	32.3
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	36.7	29.5	21.3	25.6	27.2	27.3
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	20.8	29.4	22.5	28.3	11.4	17.2
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	40.0	26.5	21.3	28.7	16.7	27.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	20.0	26.3	21.9	29.1	14.9	20.2
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	18.3	27.5	15.7	22.0	22.8	15.2
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	17.5	26.2	14.8	24.4	13.2	9.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	17.5	24.3	15.1	21.3	14.9	18.2
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組む、誘客を強化すること	23.3	20.6	17.2	25.2	15.8	16.2
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	21.7	21.6	16.0	18.5	10.5	15.2
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	22.5	19.5	16.9	19.7	17.5	10.1
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	13.3	20.6	12.7	21.7	7.9	13.1
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	17.5	18.3	15.4	20.1	16.7	13.1
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	17.5	17.6	13.3	25.2	15.8	14.1
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	9.2	19.8	12.1	16.9	7.9	10.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	13.3	18.7	13.6	17.3	14.0	10.1
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	10.8	17.9	11.8	24.4	11.4	16.2
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	13.3	17.8	15.4	18.5	20.2	12.1
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	20.0	17.1	16.3	18.5	14.0	15.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	14.2	17.0	15.1	17.3	11.4	17.2
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	14.2	17.3	12.7	18.5	10.5	18.2
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.2	15.1	13.0	14.6	11.4	15.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	13.3	14.0	11.8	22.4	7.9	14.1
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	10.8	14.1	9.8	21.7	7.9	13.1
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	7.5	14.6	12.1	15.7	9.6	11.1
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	13.3	14.0	10.1	16.9	16.7	16.2

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2017年
度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	73.8	75.5	62.5	67.0	67.9	49.6
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	63.1	57.8	56.1	39.4	24.1	23.0
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	68.9	57.9	48.8	50.0	46.4	33.6
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	62.3	53.1	55.5	51.1	63.4	48.7
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	62.3	49.9	44.5	53.2	37.5	30.1
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	52.5	48.2	41.2	47.9	44.6	22.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	59.8	42.2	31.1	35.1	27.7	21.2
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.7	39.2	38.7	38.8	42.9	31.0
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	42.6	35.3	41.5	34.6	61.6	31.0
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	58.2	38.1	27.7	31.9	29.5	21.2
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.4	35.3	33.5	39.9	61.6	24.8
19 県内離島への観光が促進されていること	20.5	34.7	33.2	21.3	21.4	35.4
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	26.2	31.1	26.8	19.1	14.3	22.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	23.8	29.2	29.3	26.6	36.6	26.5
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	42.6	28.1	31.7	27.1	17.0	15.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	38.5	27.8	29.3	26.1	23.2	23.9
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	37.7	25.7	28.0	25.5	31.3	20.4
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	18.0	27.0	20.7	35.1	20.5	13.3
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	22.1	24.0	25.6	26.1	17.0	18.6
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	17.2	25.6	22.6	16.5	15.2	18.6
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	23.0	25.4	14.6	22.9	39.3	18.6
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	39.3	21.5	24.7	28.7	31.3	23.0
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	17.2	21.7	23.2	25.0	16.1	15.9
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	24.6	20.4	24.7	17.6	15.2	14.2
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	25.4	19.2	16.5	33.0	17.9	9.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.5	19.5	16.8	32.4	7.1	8.0
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	26.2	18.1	23.5	23.4	9.8	7.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	23.0	19.2	16.5	18.6	16.1	8.0
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	17.2	18.1	20.7	18.6	6.3	12.4
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	19.7	20.4	11.9	15.4	6.3	9.7
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	23.0	17.9	18.0	11.7	7.1	15.0
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.9	17.7	15.2	14.9	18.8	9.7
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.6	17.9	11.9	25.0	6.3	9.7
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	20.5	16.6	18.3	10.6	7.1	7.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	23.0	15.4	18.9	16.0	10.7	12.4
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	15.6	16.2	16.2	14.9	8.9	10.6
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.9	16.3	14.0	14.9	8.0	14.2
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	13.1	16.2	14.6	13.8	8.9	6.2
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.8	14.9	16.8	16.0	8.9	13.3
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	15.6	14.3	13.4	14.4	9.8	6.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	15.6	14.6	11.9	9.6	8.0	8.0
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.6	12.6	16.2	14.9	5.4	8.8

図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

	(%)	
	男性	女性
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	60.8	62.1
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	51.3	53.4
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	46.7	50.4
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	47.1	56.9
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	43.6	46.9
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.3	47.9
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	45.5	46.9
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	42.9	42.7
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	36.5	38.4
4 県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	36.5	36.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	29.3	33.7
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	29.1	29.7
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.2	27.5
19 県内離島への観光が促進されていること	29.5	29.8
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	26.8	28.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	24.7	27.3
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.1	33.3
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	26.7	28.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	24.2	25.8
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	24.7	27.6
18 観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	23.0	25.4
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	22.1	22.1
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	20.0	21.5
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	20.2	20.2
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	18.6	21.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	19.1	18.2
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	15.2	21.9
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	17.5	16.8
25 高齢であることや障害の有無などにかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	17.5	17.4
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	16.5	18.8
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.1	15.6
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	15.7	16.5
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	16.3	16.8
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	16.2	17.6
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	17.1	17.1
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	15.6	16.5
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	14.8	16.9
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.2	14.3
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	13.3	15.6
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	13.8	13.5
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	11.9	14.5
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	13.4	14.5

図表 4-2-6 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	64.0	63.8	61.6	62.2	63.2	58.2	51.4
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	50.5	57.6	49.1	58.2	52.0	44.9	55.6
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	50.5	57.1	51.2	50.7	39.8	43.2	50.0
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	59.5	60.7	59.2	49.3	46.8	44.6	43.1
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	54.1	52.7	44.3	48.7	40.5	37.9	43.1
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	40.5	58.9	46.4	49.0	43.5	46.3	33.3
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	55.0	53.1	45.7	46.4	39.8	44.9	44.4
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	42.3	42.4	45.3	44.4	42.0	40.7	38.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	45.9	44.2	39.1	37.2	33.5	30.9	36.1
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.7	42.4	35.3	38.5	29.4	32.3	33.3
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	43.2	38.4	31.8	31.3	24.9	28.1	29.2
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	41.4	41.5	29.1	28.9	20.4	24.9	26.4
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	33.3	33.5	29.8	29.9	24.9	25.3	16.7
19	県内離島への観光が促進されていること	36.0	31.3	30.4	31.6	24.5	29.5	25.0
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.8	40.6	24.2	27.6	22.3	25.6	23.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	33.3	36.2	28.7	25.7	20.4	21.4	12.5
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	36.9	37.9	32.9	31.6	26.8	26.3	19.4
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していること	38.7	35.3	24.2	24.7	24.9	27.4	18.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	35.1	31.3	22.5	25.7	21.2	22.5	19.4
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	43.2	38.8	23.9	23.0	20.8	21.8	18.1
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	32.4	34.4	20.8	24.7	23.8	18.6	12.5
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	31.5	27.7	19.0	23.4	17.1	20.0	25.0
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	25.2	28.6	16.6	21.1	17.8	20.4	16.7
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数を向上するような取組を実施すること	26.1	32.6	17.6	18.4	17.8	16.1	15.3
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	20.7	27.2	21.5	19.4	16.0	17.2	22.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	27.0	25.0	16.3	17.8	15.6	16.8	18.1
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	25.2	21.0	14.2	17.8	16.4	19.6	22.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	25.2	23.2	14.2	17.8	12.3	16.5	15.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	28.8	22.8	13.5	18.4	13.4	15.8	16.7
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	27.9	21.4	13.1	18.8	17.5	14.0	15.3
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	27.0	20.1	11.4	16.1	10.4	13.7	19.4
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	24.3	20.5	15.6	15.1	13.0	15.1	11.1
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	18.0	22.3	13.1	18.4	11.5	17.5	16.7
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	25.2	21.0	15.2	16.4	12.3	16.8	16.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	19.8	16.1	15.2	18.1	14.9	18.6	20.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	23.4	16.5	14.5	15.5	16.4	15.1	13.9
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	19.8	21.0	14.5	15.5	12.6	14.7	15.3
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	22.5	17.4	13.5	15.1	13.0	10.9	8.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	18.9	18.8	13.8	12.5	11.5	15.1	12.5
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	18.9	17.9	10.7	15.5	10.0	13.0	12.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	16.2	18.3	12.5	14.5	8.2	11.6	12.5
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	24.3	16.5	11.8	14.1	9.3	13.3	16.7

図表 4-2-7 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	61.7	62.3	61.5
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	49.2	52.9	53.0
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	41.5	47.1	51.1
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	56.0	52.9	50.9
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	39.1	46.6	46.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.4	46.3	48.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	46.0	45.4	47.1
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	46.0	42.6	42.2
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	30.2	35.7	40.4
4	県内各地域の特性を踏まえ沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	31.5	35.7	38.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	29.4	29.4	33.3
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	30.2	27.4	30.2
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.0	28.6	28.2
19	県内離島への観光が促進されていること	27.8	26.9	31.6
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	26.6	27.1	27.4
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	21.0	26.9	27.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	35.5	29.7	30.1
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	28.6	25.1	28.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	23.4	24.0	26.0
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	25.4	25.4	26.8
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	21.4	23.1	25.1
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	20.2	18.9	24.4
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	16.5	20.6	22.2
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.4	20.6	19.8
35	一部直行便が就航した東アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.4	22.0	19.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	21.4	18.6	18.0
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	18.1	18.9	18.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	18.5	17.7	16.6
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	16.5	16.6	18.0
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	16.5	14.9	19.2
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	11.7	15.4	16.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	13.7	16.6	16.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	15.3	15.1	17.0
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	19.4	18.3	15.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	17.7	17.4	16.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	19.8	15.7	15.3
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	14.1	17.1	15.9
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	15.3	17.7	12.6
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	15.3	13.4	14.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	14.5	12.3	14.0
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.7	14.9	11.7
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	11.3	14.0	14.3

(3) 観光施策の重要度と達成度からみた県民ニーズ

- 「環境と共生した持続可能な観光」「沖縄文化の保全・継承・活用」「交通利便性の向上」「沖縄らしい景観形成」「各種キャンプ・大会の開催」「空手の発信、愛好家の訪問」「教育旅行の推進」等は、県民にとって重要度・達成率ともに高い項目であることから、現状の沖縄観光の強みとして、維持・強化していくことが必要である。特に、「沖縄文化の保全・継承・活用」については、前回調査と比べて重要度が高まっているのにもかかわらず達成度は低下していることから、特に強化が求められる。
- 一方、「交通事故等のトラブル防止対策」「円滑な移動」「多言語対応」「風評被害対策」「誰もが快適に過ごせる環境整備」等は、県民にとって重要度が高いにもかかわらず達成率が低位に留まることから、県民ニーズが高い施策であると考えられる。

図表 4-3-1 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性

